

フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail：info@fb-komae.org

『暮らしフェスタ』で2年ぶりにフードドライブ実施



10月30日「食品ロス削減の日」、「暮らしフェスタこまえ 2021」にフードドライブ(食品寄贈活動)で参加しました。「少しでもいいかな?」「そこでもらった野菜だけど寄付出来ますか?」「缶詰が喜ばれるんですね!」

と、多くの方から寄贈がありました。コロナ禍でイベントができずに2年経ちましたが、はじめて寄贈の方にもフードバンク狛江が知られていることが分かり嬉しくなりました。団体メンバーも食品を持ち寄ってくれ、食品提供でつながる「ごはんと居場所の連絡会」も初参加され、天候にも恵まれ、賑やかで楽しいイベントとなりました。

今年は参加団体がSDGsのターゲットを表示し、フードバンク狛江は「1のあらゆる貧困をなくす」と「12の持続可能な生産と消費=2030年までに食品ロスを半減」の取組みを意識して活動しています。



65 kgの食品が寄贈されました。ありがとうございました!

【活動報告】

・10月

- 6日 福祉相談課・こまメールと3者協議
- 14日 こまメールと2者協議
- 26～ 市庁舎ロビーで食品ロス問題の
- 29日 パネル展示
- 30日 食品ロス削減の日
暮らしフェスタでフードドライブ

※10月こまメールへの食料提供152件
支援量502.5Kg(内お米173Kg)

・11月

- 4日 狛江市子ども政策課と打ち合せ
- 7日 野菜とお米のお裾分けお渡し会
- 19日 コマラジ出演
- 22日 冬休み子育て応援申し込み開始

※11月こまメールへの食料提供139件
支援量431.6Kg(内お米142Kg)

【今後の予定】

・12月

- 2日 冬休み子育て応援発送開始
- 3、5、9日子育て応援食料直接お渡し
- 22日 冬休み子育て応援申し込み締切
- 27日 仕事納め

・2022年1月

- 6日 仕事始め



ひとり親世帯と就学援助受給世帯、受け取りに来られた71世帯に食品を提供

11/7(日)野菜とお米のお渡し会を開催!

JA 東京中央会様から野菜(大根・にんじん・キャベツ・白菜・さつまいもなど)の寄贈を受け、米3kgやお菓子・調味料などの「おすそ分けお渡し会 2021」を開催し、予想以上の申し込みがありました。親子で来てくれる方も多く、お子さんの姿にスタッフも嬉しくなりました。「立派な蕪の葉っぱですね。」
「葉っぱもみそ汁に入れて食べますね!」と、マスク越しでも会話が弾むお渡し会となり、大変喜ばれました。
(35名のお子さんにお菓子を手渡ししました♪)



*お米は、ごはん食の重要性を呼びかける食育目的で学校給食用政府備蓄米の提供を受けたものです。

学校給食のない冬休み、困窮する子育て世帯の子どもたちに食べ物を届けよう！

冬休みもやります！「食の分かち合いで子育て応援2021」

この冬、夏につながったひとり親世帯と就学援助受給世帯(176世帯)を対象に食料支援を周知します。さらにひとり親家庭へは、市から郵送される医療証(約300世帯)に案内を同封し、新たに申し込みを受け付けます。クリスマスやお正月、親子が少しでも笑顔で過ごせるよう、食品寄贈・配送費などのご寄付、皆さまの温かいご支援をお願いいたします。



9月～10月 寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

■食品の寄贈(敬称略)：

コココーラボトラーズジャパン株式会社/パルシステム東京/株式会社ローソン/天理教江東分教会/農林水産省/おてらおつクラブ/町田華厳院/三色パステルアート/モランボン株式会社/東都生活協同組合調布センター/東京すずらんの会株式会社堀口珈琲/狛江ハイタウン防犯防災委員会/フードバンクかわさき/フードバンクみたか/フードバンク調布/コヤマドライビングスクール/グルメシティ三鷹中原店/一般社団法人食品ロスリポーンセンター/株式会社クラダシ/駒井学童保育所/NPO 法人源流みらい/SOMPO ひまわり生命保険会社/ひだまりセンター狛江市教育研究所/狛江市安心安全課 他、企業・市民の皆さま(157名)より約3.6トン。

■お金の寄付:延べ42名の皆さまから総額約67万円の寄付を頂戴しました。(9/2 三菱 UFJ 信託銀行より50万円)



50人の子どもたちにお菓子・飲料を提供 学習支援 For ハロウィン

こま YELL の学習支援で、コロナ禍、家庭訪問が出来ず、集まって学ぶ子どもたち26名にお菓子・飲料を提供しました。「これ好きなの…」「きょうだいには、こっちはあげる。」「可愛い袋取っておこうよ…」とひとしきり盛り上がり喜ばれたそうです。

子ども政策課の学習支援(ひとり親家庭)にも、お菓子を24セット提供しました。次回クリスマス用の準備を始めています。



-- 「食品ロス削減月間」の取組み --

10月26日(火)～29日(金)、市庁舎2階ロビーにて、パネル展示(食品ロスクイズ・フードバンク狛江・こま YELL の活動紹介)を行いました。期日前投票と重なり、市庁舎へ来られ展示を見た人も多かったと聞きました。食品ロス削減の啓発活動を今後も強化していきたいところです。



外国人技能実習生フィリピン青年への食料支援

～フードバンク狛江理事・狛江派遣村世話人:清水信行～

10月半ば、理事長宅に、ブラック企業を告発し、外国人労働者などを支援している「総合サポートユニオン」から SOSが入りました。当事者はフィリピン人青年で、仕事で足を骨折したが、企業側は、労働災害申請に非協力で解雇を宣告されたことから、「サポートユニオン」に加盟し、弁護士を介して企業側と係争中との事。

現在、狛江市在住のフィリピン人の支援者の援助で、サポートユニオンが確保するシェルターに暮らすが、本人は当面の生活費もない状態なので、緊急に食料支援をとの依頼でした。

早速、宅配便にて米や缶詰などを発送の後、しばらくして、引き続き食料支援をとの依頼がありました。そこで

「こまえ派遣村」と連携した当事者支援体制に取り組み、11月3日2回目の食料配達では、本人の様子や生活実態等を聞き、行政の施策など可能な支援策も検討すべく、派遣村の岡村・清水両名が向かいました。

当日は、マンスリー・マンションの部屋でタガログ語通訳がわりの支援者を介した会話でしたが実習生ながら、家族の生計のため、仕送りしているとのこと。せめて在留期限の半年後までに労災保険金と「解雇解決金」を得て、家族の元に帰りたい旨の切実な声を聞きました。低賃金・人権無視の日本の「技能実習生制度」や入管法体制の被害者であるフィリピンの青年を前に、日本人として申し訳ない気持ちでした。



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫
〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7
開所日：毎週月曜・木曜 13時～17時
Facebook：「フードバンク狛江」で検索

現金や振り込みだけでなく、クレジット決済でも寄付を受け付けています。

